

学習順に配慮した単元配列

アインストーン社会の特長

5年生でも扱える単元が充実

前半13単元までは主に地理分野で構成されているため、5年生からでも扱えます。適性検査は身近な生活や地理分野の出題割合が大きいので、その内容の単元を充実させています。

政治分野の出題増に合わせた単元割

小6 社会の学習順で政治分野から学ぶことになった影響で、適性検査での政治分野の出題が増えている傾向にあります。その傾向を踏まえ、改訂版アインストーン社会では、政治の扱いを厚くしました。また学習順にも配慮し、歴史単元の前に政治単元を配置しています。

単元番号	改訂後単元
1	資料を読む①
2	資料を読む②
3	地図を読む
4	ごみについて考える
5	水について考える
6	人々の暮らしについて考える
7	国土・自然・防災について考える
8	農林水産業について考える①
9	農林水産業について考える②
10	食料生産について考える
11	工業と商業について考える
12	エネルギー・貿易について考える
13	資料を読む 地理総合編
14	現代社会について考える
15	政治・経済について考える
16	日本の歴史について考える①
17	日本の歴史について考える②
18	現代の生活・文化について考える
19	世界との結びつきについて考える
20	持続可能な社会について考える
●	総合問題①
●	総合問題②

練習問題

1 ひどもさんは、授業の中で三権分立の調べ学習をし、三権の関係を調べました。資料を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 資料において、国会と裁判所の関係は次の例文のように説明できます。この例文にならって、国会と府県の関係について書きなさい。

例文 国会が裁判所に対して、だんがい裁判を行うのに対し、裁判所は法律が憲法に違反していないかを判断します。

(2) 資料において、国民はこの国の中心にいます。国民が国会に対してどのような役割を担っていますか。書きなさい。

2 しょうごさんは、地方財政の歳入について調べ、資料1からわかることを次のようにまとめました。あとの問いに答えなさい。

まとめ

- ・神奈川県は、島根県の歳入の約3.9倍である。
- ・神奈川県と島根県の歳入に占める地方税の割合を比較すると、(A) ことがわかった。

資料1 神奈川県と島根県の歳入内訳

	神奈川県	島根県	その他
地方税	4872億円	123億円	53.4億円
国庫補助金等	1609億円	85.1億円	38.7億円

(2019年) (地方財政統計年報より作成)

(1) まとめ中の(A)にあてはまる内容を書きなさい。

(2) 資料2は、神奈川県と島根県の人口と年齢別人口割合の比較の表です。資料2を参考にして、(1)のような特徴が見られる理由を書きなさい。

資料2 神奈川県と島根県の人口と年齢別人口割合の比較

県	人口(万人)	年齢別人口割合(%)		
		0～14歳	15～64歳	65歳以上
神奈川県	92.0	11.9	62.7	25.3
島根県	6.7	12.3	53.4	34.3

(2019年) (データ出典:国勢調査2017年報、ほかより作成)

近年の適性検査の出題傾向を反映

アインストーン社会の特長

近年頻出のSDGsを厚く扱う

SDGsは近年の適性検査でよく扱われているテーマです。世界の環境問題と交えて出題されることが多いですが、身近な生活の中でできるSDGsへの取り組みなども出題されます。

改訂版アインストーン社会では、「持続可能な社会について考える」という単元を新設しています。SDGsについて扱ったオリジナル問題も掲載しています。

SDGsを世界規模で考えるオリジナル問題を掲載

4 きょうこさんは、SDGsのうち、教育や環境に興味をもち、これらについて調べました。資料1を見て、あとの問いに答えなさい。

資料1

4 質の高い教育をみんなに 15 陸の豊かさも守ろう

(1) きょうこさんは、資料1中の「4 質の高い教育をみんなに」について調べるなかで、資料2を見つけた。資料2から、小・中学校に通えない子どもと高等学校に通えない子どもの割合には、どのような傾向が見られますか。複数の地域を比較して、それぞれ書きなさい。

小・中学校 []

高等学校 []

(2) きょうこさんは、資料1中の「15 陸の豊かさも守ろう」について調べていると、資料3を見つけ、次のようにまとめた。次のまじめ中の()にあてはまる内容を書きなさい。

○東アジア、オセアニア州、北アメリカ州には、森林面積が25万ヘクタール以上増加した国がある。

○東南アジア、アフリカや南アメリカには()。

資料2 学校に通えない子どもの割合(%) (2018年)

□小中学校 □高等学校

地域	小・中学校 (%)	高等学校 (%)
ヨーロッパと北米	7	27
中央アジア	10	27
東アジア・東南アジア	10	21
ラテンアメリカ	11	23
カリブ海地域	11	23
北中東地域	12	25
南アジア	17	45
北アフリカと西アジア	18	30
サハラ以南のアフリカ	18	35
世界	15	35

(ユニセフ資料から作成)

資料3 世界の森林面積の国別割合変化 (2010～2015年、年平均)

■森林面積が50万ヘクタール以上増えた国
■森林面積が25万ヘクタール以上50万ヘクタール未満増えた国
■森林面積が50万ヘクタール以上25万ヘクタール未満増えた国
■森林面積が50万ヘクタール以上減少した国
■森林面積が25万ヘクタール以上50万ヘクタール未満減少した国
■森林面積が50万ヘクタール以上減少した国
■森林面積が25万ヘクタール以上50万ヘクタール未満減少した国
■森林面積が50万ヘクタール未満減少した国

(ユニセフ資料から作成)

3 みさきさんは、私たち消費者の行動が社会に与える影響を調べ、次の資料1を見つけ、たけしさんと話し合いました。あとの問いに答えなさい。

資料1

「持続可能な開発目標 (SDGs)」の17の目標の一つに「12 つくる責任 つかう責任」(持続可能な消費と生産形態を確保する)が含まれています。この目標を実現するための手段として、エシカル消費[※]等の消費行動によって社会を変えていくことが求められています。

※エシカル消費…人や社会、環境に配慮した消費行動をすること。 (愛知県ホームページより作成)

12 つくる責任 つかう責任

みさき: 資料1の中にある「持続可能な消費と生産」は、どうして必要なのかな。

たけし: 2050年まで今の生活を維持して世界の人口が96億人に達すると、地球3つ分の天然資源が必要になると考えられているからなんだ。そのため、「持続可能な消費と生産」では、「より(A)いものでより(B)く、よりよく」を目指しているよ。

みさき: なるほど、これは「省エネルギー化」とも関わりが深い話なんだね。ところで、資料1中の「エシカル消費」って、具体的にはどんな商品を買えばいいのかな。

たけし: 資料2に示した3つの項目をすべて満たすような商品を買うことが大切だね。これらの項目を満たした商品が市場に流通するようになると、より公正で持続可能な社会を目指すのではないかな。

資料2

①環境、人、社会等に配慮する
②買いすぎない、むだな買い物をしない
③コンプライアンス(法令遵守)に欠ける事業者の商品は購入しない

(愛知県ホームページより作成)

(1) 会話文中の(A)、(B)にあてはまる言葉を、それぞれ書きなさい。

A [] B []

(2) みさきさんは、資料2の①を満たす「エシカル消費」にあたる買い物として、次のa、bの例を考えました。a、bの()にあてはまる内容を、それぞれ書きなさい。

a 環境に配慮するため、()商品を買うこと。

b 発展途上国でつくられた農産物を、()で継続的に買うこと。

a []

b []

生活の中で行えるSDGsへの取り組みをテーマとしたオリジナル問題

今後も役立つ幅広い力を培う

社会の適性検査では、複数資料と会話文を読み取り解答を導きだす問題が出題されます。アインストーンでもそのような問題を出題していますので、資料などを理解する力を培うことができます。

また記述問題も多く掲載しているので、正解の条件を満たすために

社会的知識を深く追求できる

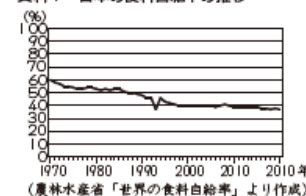
多くの資料を読み取る過程で多くの社会的知識が蓄えられます。アインストーン社会では適性検査に必要な学力以外にも、深い社会的知識が身につきます。

右の問題では、日本の食料自給率についての読み取りから、食料自給率の低下の理由、日本の農業の将来の工夫などを考えていきます。

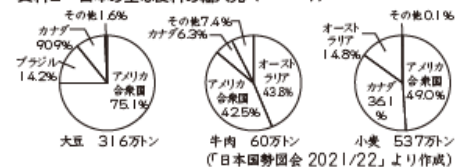
食料自給率が低下しているという知識を学べる教材は多くありますが、「なぜ低下したのか」「今後の日本の農業は」などと食料自給率の低下について連鎖的に学べる教材は少ないと思います。

アインストーン社会のオリジナル問題は社会の動きも深く学べるように工夫してあります。

資料1 日本の食料自給率の推移



資料2 日本の主な食料の輸入先(2020年)



資料3 アメリカ合衆国と日本の農業の比較

		農家1人当たりの 農地面積 (ha)	穀物生産量 (万t)
日 本	1987年	0.9	1.453
	2010年	3.2	935
アメリカ 合衆国	1987年	59.8	27.912
	2010年	163.8	38.679

(『世界国勢調査 2013/14』などより作成)

資料4 日本産の価格と外国産の価格



(1) 資料1から読み取れることを書きなさい。

(2) 資料2から読み取れることをふまえて、日本の食料確保についての課題を書きなさい。

(3) 資料3・4を関連づけて、日本の食料自給率が低下している理由を書きなさい。

(4) 日本の食料自給率を上げるために、日本の農家ができることを、価格を下げる以外で考えて書きなさい。